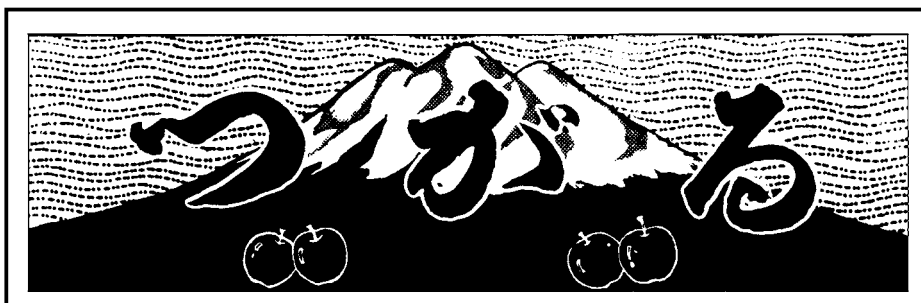


— 業務予定 —

- 駐屯地二十歳のつどい
- 弘前城雪燈籠まつり
- 駐屯地転出行事



発行

弘前市防衛協会  
 事務局:弘前商工会議所内  
 住所 弘前市上鞆師町18-1  
 電話 33-4111(代)

印刷 小野印刷  
 弘前市富田町52  
 電話 32-7471

# 新年賀謹



## 女性真響

# 新年の挨拶



防衛協会津軽地区連絡協議会  
 弘前市防衛協会

会長 工藤 武重

明けましておめでとうございます。皆様方と共に、この新しい年のスタートを、心から祝したいと思います。

と、同時に、日本中が新年の喜びに沸いているこのような時期にあっても、昼夜を問わず国防の任にあたっている自衛隊の皆様は、心から敬意と感謝を申し上げる次第でございます。

さて、日本国憲法前文に、「…平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した。(後略)」という一節があります。私はここに、大いなる不安と疑問を感じておりました。

現実の国際情勢に目を向けますと、我が国は、ロシア・中国・北朝鮮に包囲された位置関係に置かれています。彼の国々に、果たして「平和を愛する諸国民の公正と信義」を期待することはできるのでしょうか。

また、長引くロシア・ウクライナ戦争に加え、昨年はイスラエルに対する国際的なテロが勃発し、それに対するイスラエル側の反撃によって、多くの民間人が死傷するなど、情勢は益々混乱を深めています。これらの事態を、決して遠い世界で起こった他人事などと、傍観している場合ではないと思わなければなりません。

孫子の兵法の中に「知彼知己、百戦不殆」(敵を知り、己を知れば、百戦して殆うからず)という有名な言葉があります。これはつまり、平和な時にも国際情勢に気を配り、いざ戦争になった時のことを常に考えておくことの重要性を説いた言葉だと言ってもいいでしょう。

ところが、日本国憲法は、平時のことのみが想定されています。その結果、あらゆる面で縦割り社会の仕組みが構築されていて、戦時になった場合の迅速かつ積極的な行動の弊害になっていると言っても過言ではありません。

例えば、民間空港への戦闘機の離着陸などを、瞬時に行えるような態勢を整えておくべきであろうと考える次第です。

自衛隊は、言うまでもなく、災害救助隊ではありません。国家を守る戦闘集団だということを、改めて私たちは認識しなければなりません。

「備えあれば憂いなし」戦争は、決して地球の裏側の出来事ではありません。我々国民も、日本のおかれている現状を理解し、常に危機意識をもって、国防について考えるべきであろうと、年頭にあたり、皆様に強く訴えさせていただきます。

最後にになりましたが、イスラエルにおいて、主義主張の違いを超えて、一刻も早い和平が実現しますことを、そして世界中から子供たちの笑顔が消えることのないことを、心から祈念いたしました。新年のご挨拶とさせていただきます。



# 年頭の辞



第三十九普通科連隊長  
兼 弘前駐屯地司令  
一等陸佐 萱沼文洋

皆様、あけましておめでとうございます。年頭にあたり、改めて旧年中のご支援に感謝申し上げますとともに、一言ご挨拶を申し上げます。

「戦後最も厳しい安全保障環境」という言葉が登場してすでに数年が経過しますが、その間においても世界、そして我が国を取り巻く安全保障は悪化の一途をたどっています。ウクライナへのロシアの侵略戦争は長期戦の様相を呈していますし、パレスチナとイスラエルの衝突は、正義の在り様が国際社会において一律ではないことを我々に突き付けています。そして我が国周辺では、北朝鮮の軍事衛星の打ち上げや核・弾道ミサイル開発、長期間にわたる尖閣諸島における中国の挑発行為など、わが国への脅威は収まる様子はありません。

全く見通しが効かない安全保障環境にあつて、我々が重視しなければならぬのは、侵略を排除できる実力に裏打ちされた抑止力の強化です。有効な抑止力を発揮するためには、わが国の防衛能力強化と国防意志の堅持と相まって、相手国にわが国の能力と意志を信じさせることが重要です。

この「どのよう相手に信じさせるか」が最も難しいところですが、その一つの方策として、「部隊と地域との連携」があると思えます。自衛隊と地域社会、地域の方々が相互に強い信頼関係で結ばれていることは、まさに有事にあつて国家を守り抜く意志の表れとして、相手国に認識されるものです。その意味においては、津軽そして弘前は、最も強い抑止力を体現している地域だと考えます。この結びつきは一朝一夕に醸成されるものではなく、これもひとえに、長年にわたる皆様の自衛隊に対するご支援、ご協力のお陰と感謝申し上げます。

本年の干支は「甲辰（きのえたつ）」です。「甲」は今まさに芽吹かんとする植物の芽を表し、「辰」は龍のごとく躍動、変化する状態を表すと言われています。本年が皆様にとりまして「甲辰」の意のとおりに、エネルギーに満ち満ちた年となることを祈念申し上げますとともに、弘前駐屯地に変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

## 部隊長新年の挨拶



弘前駐屯地業務隊長  
二等陸佐 吉野 宏治

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、久しぶりに諸々の制限が解除された心落ち着く新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は安保三文書の初年度として、例年より多くの駐屯地施設の整備に取り組み、特に女性自衛官居住フロアの拡張等により駐屯地の女性活躍推進に寄与することができました。また、環境整備として三月に桜の剪定、六月に松の剪定、そして八月には家族支援訓練と皆様と協力して例年通りの事業を行うことができましたこと感謝申し上げます。

辰年は大きな変革を伴うことが多いと聞き及んでいます。大きな変革のうねりに乗る前に、隊員、部隊、関係者のニーズを的確に捉え事業に昇華するため、ずいぶん早めに傾聴に努め、最善の解決を図ってきたいと心に期しています。昨夏の猛暑により弘前でもエアコンなしではいられません。これまでの固定観念を捨て必要なものを調達し、明朗で情愛に満ちた勤務環境を施設の面でしっかりと整えていく所存です。

辰年が皆様方の充実した年となりますよう祈念し、ご挨拶とさせていただきます。



第九偵察隊長  
二等陸佐 白崎日出海

明けましておめでとうございます。皆様とともに新年の始まりをお祝いできることは、我々にとりましても大きな喜びです。昨年も多くの方々からご支援を頂き、任務を遂行することができました。この場をお借りしまして御礼申し上げます。さて、本年は第9偵察隊にとりまして激動の年となります。昨年初頭に報道されたとおり、第9偵察隊は今年度ももちまして廃止となり、春からは岩手の地において、第9戦車大隊と協力して新たな部隊を編制する予定です。新天地では、これまで以上に皆様の負託に応えられるよう、精進していく所存です。

残念ながら部隊は廃止となりますが、心は弘前の一員として皆様とともにあることをお誓いするとともに、変わらぬご声援を賜れますよう、お願い申し上げます。本年が皆様にとりましても発展の年となることをお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

夢・人・街……

ART 株式会社 アート不動産

代表取締役 梶澤睦子

〒036-8203 青森県弘前市本町34番地1  
TEL 0172-31-8131 FAX 0172-31-8228  
http://art-fudosan.jp/

国土交通省認定登録講習機関  
青森ドローンスクール

水中ドローン 空撮・水中撮影  
農業ドローン 各種講習会  
各種ライセンス取得 機体販売

ドローンに関する質問・依頼、なんでもお気軽にお問い合わせください  
TEL 0172-28-2727 青森ドローンスクール 検索

新・車検システム導入

車検が60分でOK!  
ずばり 9,800円

整備保証付

要予約

●お客様が来社して自分のお車を確認しながら行います。  
●ご利用されます方は予約が必要です。電話受付しますと係員がお伺いします。

\*5ナンバーサイズの2000ccまで

（株）東海自動車工業  
弘前市神田1丁目5-4 TEL.0172-33-7700(代)



# 年男・年女 新年の抱負



陸曹長 飯田 俊介

本部管理中隊

明けましておめでとうございます。年男として抱負を2つ述べます。一つ目は健康管理です。四回目の年男ということで体の動きも大分鈍くなってきたので、計画的に体力錬成を重ね食生活に注意し夜はしっかり水分補給して健康な体を維持していきたいと思っています。

2つ目は上級陸曹として有終の美を飾ることで。もう定年？ではありませんが今年一年やるべき事をしっかりやり、後輩育成に努め連隊の任務達成に貢献していきたいと思しますので今年も引き続き宜しくお願い致します。



第一中隊  
三等陸曹 打越 大吾

私は、年男になるに当たり目標を二つ立てました。

一つ目の抱負は、陸曹として更なる成長を目指すことです。職務において高い意識をもって知識・技能を向上するとともに服務面においても後輩隊員の模範となれるよう努力していきたいと思えます。

二つ目は、悔いのない一年を過ごすことです。日々の訓練はもちろんですが、趣味の面で昨年は旅行やキャンプを様々な理由で諦めることがあり後悔することが多かったので、今年は趣味の面で充実した一年を過ごせるようにしたいです。



第二中隊  
三等陸曹 松田 大志

私は、今年で干支三周になるので、新たな挑戦をしたいと思います。趣味では去年からゴルフを始めました。最初は全然だめでしたが練習していくと前に飛ばせるようになってとても楽しくなります。今年中にスコア100切りを目指したいと思います。

仕事面では部隊スキー指導官への挑戦です。入隊時はスキーが全然乗れませんでした。少しづつ乗れるようになり、指導官にうまくいったと言われうれしくなり、スキー指導官を取得したいと思いい挑戦することにしました。年男として、趣味・仕事で新たな挑戦をし充実した一年にできるよう頑張っていきます。



第三中隊  
陸曹長 石岡 和広

新年明けましておめでとうございます。早いもので、四度目の年男を迎えることとなりました。昨年は自分自身の足の怪我、父との死別しながら笑顔の絶えない家庭になるように努力していきたいと思っています。

また、自衛隊生活後半を迎え、今まで支えてくれた方々に感謝し、健康にも気を付けて、前向きに頑張りたいと思います。



第四中隊  
三等陸曹 木村 聖史

私は今年で二十四歳になり、二度目の年男を迎えました。

今年の抱負は「万里一空」です。万里一空とは目標に向かってひたすら努力し続けることを意味するもので、どんな困難があっても自分に負けることなく立ち向かい現状に満足することなく常に向上心をもって訓練に励み、中隊に貢献できる一年にしていきたい。



重迫撃砲中隊  
三等陸曹 齊藤 竜一

皆さん、新年明けましておめでとうございます。この度三度目の年男を迎える事となりました。重迫撃砲中隊の齋藤三曹です。

早いもので前の年男から十二年が経ってしまいました。この十二年間、家族そして皆さんに支えられながら大きな病気や怪我もなく健康に過ごす事が出来ました。年男の抱負として、今年からは次の年男に向けて目標を決める事です。子供も手の届かないくらいになり、少しずつ自分の時間が出るようになってきました。今年は何か目標を見つけて、それに向かって頑張っていけたらと思います。又、訓練及び業務に邁進したいと思っています。



第九偵察隊  
陸士長 品川 星弥

私の新年の抱負は、万全な体勢で任務や訓練に望めるように体調管理に気をつけることです。最近飲酒回数が増えてきて、運動する頻度が減って不摂生が続いています。

なので今年度は心機一転し、飲酒を減らし栄養のある食事を心がけ、適度な運動を継続的に実施し、それを習慣化していきたいです。体が資本の仕事なので、体調管理に気を付け健康的な一年にしていきたいです。



弘前駐屯地業務隊  
二等陸曹 越膳 亮太

早いもので三回目の年男を迎えました。二〇二四年の辰年は甲辰(きのえたつ)と呼ばれ、「成功という芽が成長し、姿を整えていく」といった縁起の良い年になっています。

それを踏まえ、「龍の如く猛々しく、新しいことに挑戦」を今年の抱負にしたいと思います。現状に満足せず、常に向上心をもって自分を成長させ、自衛官としてあるべき姿を今より更に整えていく、そんな一年にしたいと思います。



偵察直接支援小隊

たむら いつき  
ぼくのおとうさんとおかあさんはじえいさんです。ぼくは、じえいさんといくつかあじいさんです。ぼくのゆめは、じえいさんになることです。



JEWELRY KAMATA

www.j-kamata.com  
弘前本店 / 弘前市宮川2-1-11 TEL : 0172 (32) 3730



PARK HIROSAKI PARK HOTEL

弘前パークホテル  
〒036-8182 弘前市土手町126  
TEL 0172-31-0089  
E-mail h-park@imgnjp.com



二〇二四年 二十歳の抱負



本部管理中隊

陸士長 齋藤 永彩

私の二十代の抱負はもちろん親孝行です。ここまで成長できたのは、沢山の時間とお金と愛情を注いでくれた家族がいてくれたからです。美味しいものをたくさん食べさせてくれて、忙しくても送り迎えを沢山してくれました。どんな時でもいつも味方で、悪いことはしっかり正してくれました。なので、次は私が、家族に沢山美味しいものを食べさせてあげたいし、免許を取って色んなところにも連れていきます。

たくさんさんの愛情をもらった分、次は私が返して行こうと思います！そのために、二十代全力で頑張り、人として、自衛官として、頑張りたいと思います。



第一中隊

陸士長 福原 龍樹

私は、自衛隊に入隊し中隊に配置され約一年半が経ちました。当初は、分からない事ばかりでしたが、私がかつて成長することができたのは、上司・先輩方のおかげだと感じています。特に、営内班長は私が尊敬し目標とする人です。

そこで私は、目標を二つ立てました。一つ目は、営内班長のような陸曹を目指し勉学及び体力練成に励み陸曹候補生試験に合格することです。そして、今年度中隊配置になった後輩の良き見本となるように頑張りたいと思います。

二つ目は、何事にも前向きにとらえ積極的に行動し自己の能力向上に努めることです。各種訓練において先輩のように行動できるように少しでも近づけるよう視野を広げて柔軟に対応できるようにしたいと思っています。

最後に、女手一つで育ててくれた母親へ感謝の気持ちを持たず、目標を達成し大好きな母親に親孝行できるように1日を大切に頑張りたいと思います。



第二中隊

一等陸士 田中 将太

自分は今年で二十歳になり成人を迎えました。これからは、十代の時の半端な気持ちを捨て二十代からはしっかりとケジメのある立派な大人になりたいと思います。二十歳からはもう大人の仲間入りになり、いろいろ法律が厳しくなっていくので半端な気持ちで生活してしまうと悪い道へ進んでしまい将来を台無しにしてしまうので善悪の判断を自分で決め将来に期待する生活を送って行きたいと思っています。



第三中隊

陸士長 成田 太陽

私が今こうして新成人を迎える事ができたのは、育ててくれた両親、そしてお世話になってる中隊の方々を支えられて今日という日を迎える事が出来ました。

慣れない環境で右も左もわからない私に先輩方が丁寧に教えて下さったお陰で今、迫撃砲小隊の一員として知識と技能を得るために益々訓練に励んでいく事が出来ています。

成人となる節目を迎えたいま、社会人として日本を支えていけるような人間となって、この決意を忘れず邁進していきますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



第四中隊

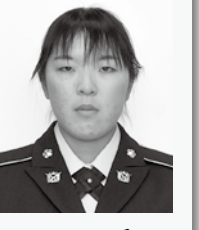
陸士長 永山 慎一郎

私は今年で二十歳になり成人を迎えました。成人を迎え一つ心に留めていることがあります。それは「挫折しても妥協はするな」です。

約二年前に新隊員前期教育の班付が自分に言ってくれた言葉です。

これから様々な挫折を味わうだろう。自分の生き方に悩み自衛隊を辞めたくもなるだろう。しかし如何なる場合でも妥協はしてはならない。苦しくとも食らいつつも仕事を続ける。そのような言葉を言ってくれた自分なりに日々励んでいる。

これからも今以上に自衛隊での仕事に励み中隊で信頼され貢献していきたいと自分は思う。



重迫撃砲中隊

陸士長 北林 凛香

無事に二十歳を迎えられたことを嬉しく思うと共に、ここまでに出会い、私を育ててくださった家族、友人、上司、同僚の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

一つの節目である今この時を迎えられたのはひとえに皆さんのおかげです。

この二十歳という節目でわたしは新たに志したいことがあります。

これまでに関わり、私を成長させて下さった方々に恩返しするべく、これからも日々成長していくことです。

今の私を作ってくれた方々には、返しきれない程の御恩があります。

その御恩を少しでも多く返せるよう、自らができる事を増やし、多方面で役に立てるような自衛官へと成長して行きたいです。



第九偵察隊

陸士長 浅利 敬士

私の二十歳の抱負は、失敗することを恐れず何事にも挑戦していくことです。いままでは、自分に自信がなく失敗することが怖くていろんなことから逃げていました。しかし、二十歳となったことと、先輩からも頼られる自衛官となるために、失敗してもめげずに何事にも挑戦し、たくましい姿を後輩に見せ、憧れる存在になれるようにしていきたいと思っています。

今年、大切な人を作り、仕事もプライベートも充実する一年にしていきたいです。



Advertisement for real estate services including 'ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー' and 'FPの家'.

Advertisement for '青森縣護國神社' (Aomori Prefecture Gokoku Shrine) with contact information for 齋藤 毅.

Advertisement for '株式会社 太陽地所' (Taiyo Jisho Co., Ltd.) real estate services.



# 自衛隊創立記念日行事 弘前市土手町通りを勇壮にパレード

弘前駐屯地は九月十八日、自衛隊創立記念日行事として弘前市の中心街でパレードを行うとともに、弘前市民中央広場で記念式典を行った。

市中パレードは隊員の士気高揚と地域住民との交流、連携強化が目的で昭和四十三年に弘前駐屯地の開設を祝い、市中行進を行ったのをきっかけに始まり、毎年多くの市民が楽しみにしている秋の恒例行事となっており、今年で四十五回目となる。

当日は、弘前市中心街の土手町蓬萊橋から観閲台の置かれている桜大通りまでの約600mを、第九音楽隊を先頭に、青森県隊友会、新隊員教育隊、第二十九普通科連隊（戦闘服、一六式制服、災害派遣時の服装の各中隊）の人員約四百二十名が堂々たる行進を披露した。引き続き、第三十九普通科連隊、第三普通科直接支援中隊、偵察直接支援小隊、航空自衛隊第二十一高射隊（重力分屯基地）、第九偵察隊の車両六十両及び第九飛行隊（八戸駐屯地）の航空機一機が次々と行進を行い、沿道に詰め掛けた多くの市民から大きな拍手が鳴り響いた。

桜大通りに設置された観閲台では駐屯地司令をはじめ、招待者や関係者各位が糸乱れぬ部隊の行進に一際大きな拍手を送り市中パレードは盛況のうちに終了した。

その後、弘前市民中央広場に場所を移し記念式典が行われ、駐屯地司令は「多数のご来賓のご臨席、地域の皆様、隊員ご家族の皆様のご来場を賜り、自衛隊創立記念日市中パレード、そして記念式典を挙行できますことは大きな喜びであり、弘前駐屯地を代表し感謝申し上げます。」と冒頭に述べ、次いで「平和を維持するための国際ルールが通用しない世の中になってきており我々自衛隊はいかなる脅威にも対応すべく、日々訓練を積み重ね、わが国の持つ最後の刀としてその刃を研ぎ続けています。我々の目指すところは、刃の切れ味をますます研ぎ澄まし、いざという時には、その刀を抜くことも厭わぬ姿勢を見せることで、何人たりともわが国には指一本触れさせない、そのような気を絶対に起こさせないようすることにあります。刀を抜くことなくわが国を守ることにこそ、我々が究極的に追求する国防の姿だと考えています。しかし、このことは自衛隊のみで達成できるものではありません。自治体、官公庁の皆様、防衛協会、協力団体の皆様、そしてなにより地域の皆様からの自衛隊へのご支援ご理解、そして信頼が必要不可欠です。国の軍事組織は、国民の協力を得た時に最も強くなる。その意味において弘前市の真ん中で市中パレードを実施したことは、駐屯地と地域との結びつきが非常に強いことの表れであり、国防上の強さを体現している地域であると確信しています。」と訓示をし、この地域と自衛隊が強い絆で結ばれていることを強調して式典を終了した。

これからも郷土と共にある駐屯地として地域住民の方々とのより一層の理解と信頼関係の強化を図っていく。



いつも、あなたのそばに

THE MUSE SHIMBO

## 陸奥新報



### 中隊の名誉をかけ、必中の信念で射撃

第三十九普通科連隊は、王城寺原演習場において、総合戦闘射撃及び連隊射撃競技会を実施した。今回の戦闘射撃は今年度の連隊主要目標の三つのうちの最後の訓練であり、連隊検閲、任務等を踏まえた訓練の充実に向けた訓練に引き続き連隊主力をもって訓練に臨んだ。戦闘射撃では東北方面特科連隊、第9施設大隊、施設作業小隊、対戦車小隊、迫撃砲小隊、小銃小隊、重迫撃砲中隊が連携し見事設定した練度目標に到達した。統裁官である連隊長からは連隊三大目標を見事成し遂げた連隊の隊員に労いの言葉がかけられた。

引き続き、実施された射撃競技会では各中隊が中隊の誇りと名誉をかけ必中の信念のもと二十五メートル至近射撃、狙撃射撃及び迫撃砲射撃の各部門で練度を競った。

迫撃砲、狙撃銃部門を制した第四中隊は射撃三冠を狙い至近射撃に挑んだが、重迫撃砲中隊がそれを阻んだ。重迫中隊は射撃競技会当日の午前中に評価射撃を行なった後でも、集中力を切らさず見事優勝を果たし、練度の高さを証明した。

### ゲリコマ攻撃対処の検証 任務等を踏まえた訓練の充実

第三十九普通科連隊は、岩手山演習場において、「任務等を踏まえた訓練の充実」に向けた訓練を実施した。

本訓練は、従来から実施している本格侵攻対処の訓練に加え、より蓋然性の高い事態に対処するための訓練を組み合わせ、同一訓練の場で練成し、両方の練度を効率的・効果的に向上させることを目的として実施された。

本訓練では、状況に応じた適切な武器使用、敵ドローンに対する対応要領等、現代戦における実践的な戦い方の要素を含んだ様々な状況を演練した。

本訓練は、防衛、警備を遂行する上で欠かせないものであり、じ後の訓練に繋がる検証成果を多く得ることができ、充実した訓練となった。

### 自ら考え整備せよ ~秋季岩手山演習場整備~

第三十九普通科連隊は十月二十三日から三十日にかけて岩手山演習場において令和五年度秋季演習場整備を実施した。

本整備では連隊長の要望事項「指揮の要訣の実践」のもと各隊員は、効果的に緊要地形を活用するために自ら考え地形・植生に応じた整備を実施した。

また、整備間の零細時間を活用したラックサックマーチ、射撃予習等を実施する等各中隊は時間の効率的な活用に工夫をこらしつつ整備を終了した。

また、野外炊事の現場に弘前駐屯地所属の栄養士が衛生指導の現場指導を行い、隊員一人ひとりが衛生面に注意して炊事能力の向上を図った。

また連隊長と各中隊の隊員が会食をする等期間を通じて隊員相互の融和を図った。



「迫区隊、完歩ー!」。行進前に隊員同士で円陣を組み、気合を入れた

### 三十五キロ行進、完歩 それぞれの部隊へ配属

### 新隊員後期教育修了

「このメンバーでできるのもあとちょっと、三十五キロ行進訓練、総合訓練つらくても笑顔で乗り切って行こう」三十九普通連は八月二十八日(月)弘前駐屯地及び周辺地域で「三十五キロ行進訓練」を実施した。普通科隊員に必要な徒步行進能力の向上を目的としたもの。

当日午後四時頃から隊容検査、各班長のもとと装備品の脱落防止や総重量が約十四キロになるように設定された背のうり組み品などを点検。出発前には、自衛隊家族会、弘前駐屯地曹友会の激励を受けた。

新隊員二十五人はお互いを鼓舞するため自ら円陣を組み「迫区隊、完歩!」などと気合を入れた。

約十時間かけて気温や湿度の高い過酷な気象条件の中、仲間との固い絆で誰一人欠けることなく完歩した。

訓練後に女性隊員は「男性隊員との歩くペースの違いもあり大きなママができた大変だったけどつらいのは自分だけじゃない」と、同期と励まし合い、完歩することができた」と感想を述べた。

約三ヶ月の教育期間で軽火器区隊では、戦闘訓練や武器の分解結合、迫撃砲区隊では、砲手訓練や弾薬の取り扱い等を学び終えた隊員たちは「新隊員特技課程教育修了式」を迎え、修了式後、隊員らは新たな戦力として各中隊に配属された。今後の活躍に期待します!

### 早期退職者の紹介 永年の勤務 お疲れ様でした。

本部管理中隊

陸曹長

和泉 仁

第二中隊

三等陸尉

齊藤 英二

陸曹長

葛西 淳